

春作業の注意点を確認しましょう！（播種から硬化完了まで）

今年は、大雪となり、雪解けの遅れが心配されます。消雪予想を確認し、しっかりと計画を立てましょう！

（3月31日現在の消雪予想）

測定場所	本年		昨年同日	
	積雪深	消雪予想日	積雪深	消雪予想日
小 出	114cm	4月18日	45cm	4月9日
入 広 瀬	230cm	5月6日	134cm	4月23日



## 育苗作業のポイント

① 稚苗の管理温度・硬化完了までのめやす

※あくまでもめやすであり、天候により変わりますので、注意深く苗を観察しましょう！

育苗段階	終了段階の苗の育成	温度管理		処理日数
		昼間	夜間	
出芽期	出芽長 0.5~1 cm	30℃	30℃	2~3日
緑化期	第1葉鞘長 3.5 cm	20~25℃	15~18℃	2~4日
硬化期	苗丈 12 cm	15~20℃	10℃以上	12~13日

② 【緑化期】1葉が展開した頃が終了時期！速やかに保温シートをはぎましょう。

❗ 保温シートのはぎ遅れは、腰高になる恐れがあるので注意！

❗ 保温シートをはいたら、乾かないように1日1回午前中にかん水！

③ 【硬化期】低温時や霜注意報発表時、強風時以外は、ハウスを開けて外気に慣らしましょう。

❗ 田植4~5日前に弁当肥を実施！（移植前4~5日(1.8葉期)頃窒素成分1箱当たり約1~2g）

❗ 硬化期のかん水は、前半は1日1回、後半は乾き具合を見て午前・午後の2回！

❗ 夕方のかん水は、根張り不良になるので注意！

適期移植で適正な初期生育を確保しましょう！



## 田植えのポイント

① 移植最適期【5/15~5/20】

❗ 中干しの遅れ、高温登熟を回避するため【早すぎず遅れず】がとても重要！

② 適正栽植密度

❗ 【平場60株】 植え付け株数が多いと茎数が過剰になり、後期栄養不足により登熟不良を起こすので注意！

❗ 【山場70株】 分げつが緩慢で茎数が確保できないほ場では植え付け株数を増やし収量確保！

稲作携帯メールサービスの登録で品質向上を目指しましょう！

【登録専用アドレス】 イナサク  
inasaku@ja-kitauonuma.com



登録用QRコード

